



平成 31 年 1 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ビットワングループ  
代表者名 代表取締役社長 高橋 秀行  
(コード番号 2338 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経  
T E L 03-5360-8998 (代表)

## 営業外収益の計上及び特別損失の計上 並びに連結業績予想修正に関するお知らせ

平成 31 年 2 月期（平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日）第 3 四半期連結会計期間において、下記の通り営業外収益及び特別損失を計上いたしました。これに伴い平成 30 年 10 月 10 日に公表しました平成 31 年 2 月期通期連結業績予想の修正について当社取締役会にて決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の計上について

当社の契約相手方との契約違約金の入金があり、当第 3 四半期連結会計期間において、営業外収益として違約金収入 11,680 千円を計上いたしました。尚、契約相手方に関しては、当該契約上の守秘義務条項により非開示とさせていただきます。

#### 2. 特別損失の計上について

当社グループは、沖縄県において、平成 30 年 3 月より、当社の 100%子会社である株式会社マイニングワンにより、マイニング事業を開始いたしました。

しかしながら、仮想通貨取引量の減少及び仮想通貨相場の下落等により、想定通りの収益を得ることができませんでした。

このような状況を踏まえ、マイニング事業に関連する事業用資産の全額を回収することは困難と判断し、特別損失として減損損失 460,618 千円を計上することといたしました。

#### 3. マイニング事業について

今後、当社グループのマイニング事業に関しては、当面、フル稼働は行わず、今後の仮想通貨やマイニングを取り巻く環境に応じて、稼働の調整を行いつつ、事業継続していく所存です。

#### 4. 平成31年2月期通期連結予想数値との差異（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,285	126	85	75	14.15
今回発表予想 (B)	610	△480	△510	△910	△130.00
増 減 額 (B-A)	△675	△606	△595	△985	
増 減 率 (%)	△52.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成30年2月期)	1,034	△187	△198	△518	△97.89

#### 5. 連結業績予想修正の理由

当第3四半期連結会計期間において、フィンテック事業の売上高は、当初想定額を大きく下回りました。これは、フィンテック事業におけるマイニング及び仮想通貨交換所の運営に関して、マイニングに関しては採掘効率の改善等の対処を行いました。仮想通貨取引量の減少及び仮想通貨相場場の下落等の要因により、想定していた売上高を大幅に下回ったこと、また、仮想通貨交換所の運営に関しては、平成30年9月より当社孫会社であるBIT ONE HONG KONG LIMITEDにおいて、本格的なプロモーションを開始したものの、仮想通貨相場場の大きな下落等の要因により、想定通りの口座数獲得が出来ず、結果として当社グループ仮想通貨交換所の売上高が想定を大きく下回ったことによります。なお、当第4四半期連結会計期間においても、当第3四半期連結会計期間と同様の状況が継続すると考えられるため、想定する売上を達成する見込みがないこと等から、売上高は、前回発表予想と比較して675百万円減の610百万円となります。営業利益については、前述した売上高減に伴う売上総利益減少額等により、前回発表予想と比較して606百万円減の△480百万円となります。また、経常利益については、上記「1. 営業外収益の計上について」に記載の通り、当第3四半期連結会計期間において、営業外収益として違約金収入11百万円を計上したこと等から、前回発表予想と比較して595百万円減の△510百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記「2. 特別損失の計上について」に記載の通り当第3四半期連結会計期間において特別損失として減損損失460百万円を計上したこと等により、前回発表予想と比較して985百万円減の△910百万円となります。

以 上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。